

事例紹介 こんなときにお使い下さい

データ入力サービス

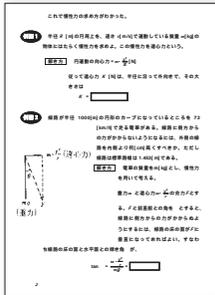
技術系教材制作 (画像、表、数式入りの技術文書)

●制作の流れ



過去の顧客カード (手書き・購入履歴等記載) のデジタル化

●制作の流れ



No.	氏名	住所 (市)	画像データ
0001	山田太郎	大阪市	A0001.pdf
0002	鈴木一郎	豊中市	A0002.pdf
0003	中村花子	東大阪市	A0003.pdf
0004	小林由美	京都市	A0004.pdf
0005	加藤浩志	京田辺市	A0005.pdf
0006	木下和男	大阪市	A0006.pdf
0007	小池義雄	堺市	A0007.pdf
0008	西田洋子	尼崎市	A0008.pdf
0009	橋本幸雄	亀岡市	A0009.pdf
0010	渡辺玲奈	神戸市	A0010.pdf

株式会社 宏和 Kowa Corporation
 東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339
<http://www.d-kowa.co.jp/> <http://scanning.jp/>

- オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
 電子化業務 紙文書・紙図面スキャン (電子化) サービス、データエントリー (入力)、データコンバート
 CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力 (トレース・設計)、電子納品データ作成
 コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
 その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

コウカノコ Vol.22

発行所：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株) 宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウカノコ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.22

2017
7
July



2017年もあっという間に半年が過ぎ、早くも後半戦に入りました。弊社のお客様に話を聞いても「景気の動向は先行き不透明」と言われる方が多いです。東京オリンピックまでは良いだろうがその後は…、人手不足もあるし…、来年のことが見えない…などです。少し前にTVのCMで元サッカー選手の中田英寿さんが言っていました。質問「世の中で無駄駄目と思うことは？」中田さん「わからないことを心配すること」名言ですね。

代表取締役 日笠宏昭

「コミュニケーション能力」ってなに？



企業の人事担当者の方に「採用面接でもっとも重視する点は何ですか？」と聞くと、一番多い回答が「コミュニケーション能力」だそうです。

では、コミュニケーション能力とは何でしょうか？ウィキペディアには、「他者とコミュニケーションを上手に図ることができる能力」とありますが、今月は社会人として仕事を円滑に進めるための「コミュニケーション能力」について参考文献の力も借りながら常々思っていることを書いてみたいと思います。



社会人生活も30年を越えてくると、漠然と経験的に思うことがいくつかあります。例をあげると次のようなことです。



性格は変わらないが、慣れ(場数)によってコミュニケーション能力が上がる人もいます。



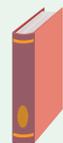
立ち振る舞いを変えることによってコミュニケーション能力は上げることができる。



性格の良い人=コミュニケーション能力が高い人 ではない

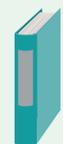


口数が少ない人=コミュニケーション能力が低い人 ではない



ビジネスパーソン立場から書かれた本、「コミュニケーションの教科書」朝倉千恵子著によると、「コミュニケーション能力を左右するのは、性格ではなく、「礼儀、礼節」、しかもそれは何歳からでも身に付けられる」とあります。本では、コミュニケーション能力を構成する要素を、「礼儀」をベースとした「関わる力」「聞く力」「伝える力」の3つに分けて説明されています。なるほど、と納得させられることも多々書かれています。少し挙げてみますと以下のようなことです。

- ・人見知りカタチ(姿勢・態度)を変えてカバーする
- ・感性=違和感に気づく心 を磨きつづける
- ・信頼関係の構築=言行一致
- ・緊張していても堂々とふるまう
- ・笑顔と真剣な顔でコミュニケーション能力アップ
- ・整理整頓をきちんとやると、頭の中も、人間関係も整理できるようになる
- ・「伝えた」=「伝わった」ではない 確認する習慣を



一方、精神科医立場から書かれた本、「コミュニケーション能力を鍛えよう！」森田幸孝著によると、「学力とコミュニケーション能力とは全く違う能力」とし、「コミュニケーション能力は、人間性や性格などで規定されるものではなく、学習、つまり練習により向上していくもの」としています。つまり、努力すれば大きく伸びる分野であり、コミュニケーション能力を自分で意識的に向上させることが、社会に出ると必要となる「生きる力」を身に付けることに繋がる、と書かれています。他者とコミュニケーションをとる時に大切な九つの心構えとして、以下のことが挙げられています。

- ・自分を好きになることから始める
- ・話を自分に置きかえる習慣をつける
- ・あいさつはコミュニケーションの基本
- ・空気を読めるようになる
- ・会話は話す前から始まっている
- ・欠点について話すのは打ち解けてから
- ・相手の顔を見ながら話す
- ・身だしなみは清潔に
- ・言葉への無神経さが相手を傷つける

その上で、「聴く力、質問する力」を磨く、「話す力」を磨く、人間関係のトラブル解決法、ストレスをため込まないために、という内容で具体的な練習方法が書かれています。

まとめでも、前書では、「コミュニケーション能力が向上し、人間関係が良好になると、運命も良くなる」、後書では、「コミュニケーション能力が高ければ、周囲から好意的に受け入れられる。そして、その力は、訓練さえすれば身につく」と書かれています。ビジネスパーソンと精神科医という立場の異なる著者でも、言い方は多少違いますが、共通点も多く、立場は違っても向上させる方法は似ていると感じます。そして「何歳になっても、コミュニケーション能力は磨くことができる」ということに、あらためて気付かされました。

※参考文献

「コミュニケーションの教科書」相手と心が通いあう3つの力 朝倉千恵子 (フォレスト出版)

「コミュニケーション能力を鍛えよう！」聴く技術と伝える技術 森田幸孝著 (幻冬舎ルネッサンス)